

2018年度 第三回朝の会議事録

開催日時：2019年2月23日（土）10：15～11：40

二階保護者控室にて

承認事項

賛成多数で下記の事項が承認されました。

詳細は2月20日に配信されたお知らせメール#3 1 添付資料をご参照下さい。

◎書初め係、節分係の運動会当日のボランティア義務化 リーダーは免除

◎2019年度4月より教材費を一人15ドル幼児・児童・中高等の生徒より徴収する。
教材費は登録料と受講料と一緒に初回チェックにて徴収。返金不可。

◎経験のある教員の初任給は17ドルではなく19ドルから始める。昇給は一年ごとに1ドル上げ、4年で20ドル、5年以上で21ドルとする。

1. はなび教員募集（副委員長より）

現担任の高田先生が4か5月までしか教員ができない為、現在教員を募集している。

2. 書初め係、節分係の運動会当日のボランティア義務化（保護代より）

説明（資料参照）、リーダーは免除

賛成多数で承認された

3. 教員養成のワークショップ（役員 副委員長 児童2教員小林先生 より）

説明：教員不足解消のための教員養成が目的、来年度5月スタート、小山先生のマニュアルを元にする。カリキュラムは教員が作成。再来年度教員希望者が対象。グーグルフォームでアンケートを取る。詳細は追って、お知らせメールにて連絡する。

小林先生より一言「役員も教員確保に毎年苦勞している。保護者の方は実際、子供達の教育に熱心だからこそセンターにきていると思っています。教員にも力を貸していただきたい。マンツーマンで教室に入ってくださいアイデアも考えている。教員育成に現教員も協力させていただきたい、ぜひお力を貸してください。

4. 幼児ワークブック完成と導入の報告（改善より）

幼児2で1冊と幼児3で2冊（1冊は幼児2の終わっていない分を引き続き使う）を紹介、ミトコ先生・栗原先生に監修をお願いした。

5. 来年度より教材費年間15ドルの徴収（幼児・児童・中高等クラス）（役員より）

説明（資料参照）、教材費が今後足りなくなる見込み、教材費の返金不可

（質疑応答）

保護者「授業料を0.5ドルあげるのと同じではないか？」

役員「0.5ドルだと受講料徴収時の会計業務の負担。黒字の懸念。教材費は受講料と違い年度初めに徴収するので、収入が確実である。」

保護者「現在の生徒一人につき10ドルの予算はなくなるのか？それとも25ドルとなるのか？」

役員「現在教員の方に配分している予算（生徒一人につき10ドル）は継続。今回の教材費増収は、新しい幼児教材費、教材費予算の値上げ、教材を印刷するコピー機の故障や積立費などに使用する。*先生には教材費をセンターに請求するように言っているが、予算を超えても悪いからと言って請求しない方もいる。新任の先生などは教材を整えるのにお金がかかる。気兼ねなく教材費を使っていただきたい。また途中入講者も同じく初回到登録料と教材費を徴収する。

キャンセル時の返金は不可。

保護者「成人もとるのか？」

役員「2019年4月からの受講料値上げに伴い、教材費は徴収しない。また、2019年4月より一冊60ドルする教材を全員購入することが成人教員会議で可決された。現在、受講料より、成人一人につき3ドルの教材費の予算がでている。」

賛成多数で承認された

6. 来年度以降の教員の給料・昇給制度と経験者の初任給について（副委員長より）

説明：経験のある教員の初任給は17ドルではなく19ドルから始める。昇給は現在二年ごとに1ドルを来年度からは一年ごとに1ドル上げる。最高を21ドルとする（現在22ドルの場合はそのまま）。（詳細は資料参照）

賛成多数で承認された

7. 改善報告（改善係より）

改善より年間活動報告（改善議事録を参照）

8. 避難経路、緊急時マニュアルの紹介（改善係より）

説明（改善議事録を参照）

※生徒を迎えに行かない、集合場所で会うこと。

9. 教材係設立と改善廃止（役員、改善係より）

役員：改善を廃止にして教材係にするという案があった、経緯をすべて説明するのは控えるが、先生方がこの案を見て反対意見がでて、最終的に撤回をした。混乱を招きまして、申し訳ございませんでした。

副委員長：先日、教員代表、役員、改善で5時間にも渡る会議をしました。改善をなくして教材係にするという案は改善からの立件で会議で合意しました。その後、改善から撤回の要請がありました。実際にはコミュニケーション不足でこのようなことな形で皆様に混乱を招きました事は事実ですので、大変申し訳ありませんでした。ただこれは役員から改善を潰すということでは全くない案件です。今年は改善に役員からお願いした避難経路の案件、代講キットの作成など、他にも係の掛け持ち、大変ご尽力感謝しています。

役員、改善の立ち位置がはっきりしてないので、混乱をまねく、改善に聞けば教員の要望と言われ、教員に聞けば改善がやりたいからと言われる。みんなの答えがバラバラ、ならば教員、役員の連絡は改善を通さず直接の方がいいのではないか？という結論に達しました。

また教員からのメールの一部で、フルタイム、子供が何人いようがいまいが、個々に何を優先にするかが問題だと言われました。残念ながらセンターの仕事を一番に優先してるかといわれれば、仕事、家庭が生活があるのでそれはできません。それでも、通勤中、昼休み、帰宅中、夜中まで、自分の時間を割いてセンターの仕事をやっています。それでもトップに立つなどまで言われています。これは、一部の教員意見で、全員の意見ではないですが、教員を軽視しているということは全くありません。教員方のエクスペクテーション、要望にすぐに対応しきれないところはあるかと思いますが、次の役員を引き継ぐ方のためにも。教員、改善、役員、の役割を明確にしていきたいと思います。以上。

委員長：センターの体制向上のために良かれと思ってやった事が裏目に出てしまったのが今回の事件です。こんなに大きな組織になれば、一つを良くしようとすれば一つが悪くなる、バランスをとってやっていくのが必要との教訓になりました。

コミュニケーション不足は痛感していて、メールが出回り、ご迷惑をおかけしたことをお詫びします。申し訳ありませんでした。

いろんな方からの励ましの言葉やサポートに感激しました、ありがとうございました。

運営委員はこれから渦中の人になったり、色々ありますが、お金をもらっていても誰もやりたくない仕事なのです。二年前に立候補がなかった時に、現在の改善(旧役員)の方がすごく責められていて、なんとかしなければと思いました。今は運営委員になって本当によかったと思っています。私は信頼ができる素晴らしいチームと一緒に仕事ができる事を誇りに思っています。来年のメンバーにも素晴らしい助言をもらっていて、頼もしい限りです。来年度はどこまでできるかわかりませんがよろしくお願いします。

保護者・旧改善より：改善は私一人から始まったグループで、設立当初の目的を把握している方々も、現在は教員やアシスタントに入っており、残念ながら保護者会には参加できず、またその数も毎年減ってきています。改善係が何をやる係なのかもわからないと思います。4月の朝の会にて改善係の成り立ちや説明を保護者の方に（新保護者を含む）させて頂きたい。

役員：来年度からコミュニケーション不足の解消のためにコピー室の隣のスペースを役員室とすることが教員との会議で決まっている。

改善：みなさんが本当に聞きたいのは、そういう事じゃないと思う。

本当は、もっときちんと今回の経緯を伝えるべきだと思うが。

(ご覧の通り)ここ(改善と役員)というのは、色々ある。

去年度終わり、全く同時期に、教員からの懇願書が出た。それを我々は重く受け止めた。

教員の労働環境向上に向けて、なんとかしたいと思いで取り組んできた。

改善には私自身は元教員で元役員も在籍してるため、現場の実情がよくわかっており、話が早いということから教員は次第にこちらに問題を投げ掛けてきた。

子供達が楽しくセンターに通って欲しい、その思いは皆同じ。だが、そのためには先生が気持

ちよく仕事してくれる事が最重要”と改善は考えた。実務の優先順位の違いなどから、役員一改善で話がうまくまとまらなかった。

役員の『1つ変えれば対応は数カ所に及ぶ』と言う言い分もわかる。また個人的に私が『係』の仕事を超えた域まで手を出したという部分では、申し訳なかったと思う。ただ『役員に言っても聞いてもらえないので、改善に相談しにきた』という例は多くあった。

『改善』と『役員』と言う窓口が2つある事で、“どちらに言ったら良いのか”という混乱があったかもしれない。今後は、ご意見は全て『役員』へお願いしたい。そこから改善に依頼を頂く図式にしたい。

今年せつかくとった保護者アンケート、先生からの声をしっかり受け止め、今後もセンターの改善に取り組んでいきたい。

(センターにとって)『改善係』という形が最善かどうかは、今後も検討する。

『教材剪定・制作』は、(役員発言:まずは教員会議にかけ、先生の依頼があった際は役員からの依頼を受けて)という形にする。

役員：私は改善に二年お世話になっていて、今年役員をさせて頂いています。あまりうまくしゃべれないので、昨日先生方に送ったメールを皆様とシェアさせていただきます。

まずはじめに、誰が読まれても不快にならないよう、言葉を選んで書いているつもりです。不快に感じられた方がおられましたら、深くお詫び申し上げます。

教員の経験はございませんので、教員の方の気持ちが理解できるかというとうそになってしまいます。しかし、教員の方が皆さんがんばってくださってることは存知あげております。朝早くから準備され、ご自宅でもお仕事され、また遅くまで残って、子供達のためにご尽力いただいていることに深く感謝しております。

アシスタントの方もセンターのある日は毎回来られて、教員の方のサポートをして頂き誠に有難うございます。

また、改善の方が一生懸命センターのために、寝る間も惜しんで、メールのやり取り、資料作りにがんばっておられることも知っております。

ここ2年、教員の経験者の方が改善に入って下さったおかげで、教員の方の声が保護者に届き、代講キット、幼児の教材と形になりました。また、役員から提案いたしました、避難経路図、受講料遅延料の決まり、バザ-のアイデア、教員代講キットの作成とお手伝い頂きました。

いち係りという無償のボランティアとして、お手伝い頂いたことに感謝しております。

私が改善時は、改善の案件は3つに絞っておりました。その理由としてセンターはたくさんの改革を一度に行なうようなシステムになっていないという理由でした。ここ5年、資料を作成したにも関わらず、日の目を見なかった案件があったことを旧改善の方から聞いておりますし、私も知っております。

この状況を不思議だなと思い、実際役員になってその理由を肌で感じました。

何かを一つ大小関わらず変えるとしたら、各所の困惑と苦情をまねきドミノのように実務が増えていきます。これは簡素化に関しても同じことがいえます。昨年から今年と案件が多かったことで、それぞれの案件に変更を伴い、そのつど対応していきます。残念なことに、この業務は外からはあまり理解されることはありません。今年5つそして、昇給制度、教材費別途徴収と合計7つです。承認受けたからそこで終わりません。それに伴うフォローアップ作業が必要で、軌道に乗るまでは終わりません。センターのシステムに合わず修正するかもしくは消えて

いくこともあります。その実務を行なうのは役員です。案件によっては教員の方にも業務を増やすこととなります。センターに問題があることは重々承知しております。しかし改善事項はいっぺんにたくさん行なうことは難しいことをご理解いただければと思います。

実例を出してご説明しようと思えばできるのですが、長くなるので省かせて頂きます。情報は共有はできますが、その大変さを理解することは実際にその実務をやっている人間にしか分からないからです。私は教員の方の苦労を理解できると軽々しくいうことはできないのと同じです。私からみても、現役員は皆さん一生懸命働いております。特にうちのリ-ダ-は人の何倍も働いて、大変だということは一言もいいません。がんばっているというところを見せたくないのかもしれないので、私がこの文章を書いたことに憤慨してるかもしれません。本来の業務と別に一人センターに残り教材図書の整理をしたり、朝一番に来てイベントの準備をしたり、他の役員のサポート-、新人役員のサポート-、役員なら当たり前だと思われるかもしれませんが、役員内で良い環境で業務ができるよう務めています。今回、改善係からの通常より多い改善事項への対応がかなり負担になってしまったのが現状です。

現役員は今後の役員不足を回避するために、役員の仕事を大変だという認識をなくすように務めてきました。実際はちゃんと働いています。しかし、教員の方々へのサポート（コミュニケーション不足）はうまくできていなかったのは大変残念なことです。これに関しては今後改善していくことが必要だと深く受け止めております。

最後に生徒のために一生懸命がんばっている方には優しいセンターであることを願います。先生方のご意見にありましたように役員、教員、保護者、改善がうまくバランスがとれた日本語センターになればいいなと心よりそう思います。

10. アシスタントについての補足説明（副委員長より）

誤解している人が多いが、教員の給料は時給17ドルで、アシスタントは一回（2時間）で17ドル。

11. 忘れ物について（役員 保護代より）

教材室に忘れ物箱が設置されております。お忘れ者をされた方は。先生に聞かず、教材室の忘れ物箱にて直接ご確認ください。

以上。